

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	H.N	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学年	4年	派遣国	アメリカ合衆国
派遣大学	カリフォルニア州立大学チコ校		
期間	2022年 8月 12日～ 2023年 7月 5日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / <u>学外の学生寮</u> / アパート / その他 ( )					
部屋	個室 / <u>2人部屋</u> / 3人部屋 / その他 ( )					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン		冷暖房	○	冷蔵庫	
滞在費	約 ( 15万 ) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	( バス ) で、約 ( 8 ) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	3万円	食料品等
学用品購入費	0円	学期始め無料
交通費	0円	学生無料
交際費	1万円	趣味・娯楽用品
その他	1万円	日用品
<b>合計</b>	<b>5万円</b>	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

日本と比べると、どの地域も危険であると感じる。ただ、州や地域によっても大幅に異なる。例えば、サンフランシスコやロサンゼルスといった大都市はホームレスの人々が多く、治安が良くない場所が多い。私が滞在したチコは比較的治安が良く、銃撃事件なども学期に1回起こるかどうかの頻度だった。インターンで1か月ほど過ごしたアラバマ州モビールはそれに比べると非常に危険で、銃撃事件が毎日起きていた。

### 3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ( JSAF 保険 )		
加入期間	( 11 ) ヶ月間	保険料	( 約12万 ) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	( ) ヶ月間	保険料	( ) 円

### 4. 滞在都市についての情報

<p>滞在都市/町 ( <b>カリフォルニア州/チコ</b> )</p> <p>チコは、州都であるサクラメントから車で1時間半ほど北上した位置にあり、周りは森に囲まれています。ダウンタウンには、バーやレストランなどが建ち並び、夜は綺麗にライトアップされます。カリフォルニア州立大学チコ校は、そのダウンタウンのすぐそばにあり、行内には川が流れていて自然豊かなキャンパスとなっています。多くの学生が大学寮やシェアハウスで暮らし、通学しています。</p>
--

## 【学業編】

### 1. 大学情報

大学	California State University Chico	所在地	Chico, CA
最寄空港	Sacramento International Airport	空港からの距離	87 miles
空港⇄大学	( バス+アムトラック ) *移動手段		
学生数	14,000 人	留学生数	500 人
学部	College of Agriculture College of Behavioral & Social Sciences College of Business College of Communication & Education College of Engineering, Computer Science & Construction Management College of Humanities & Fine Arts College of Natural Sciences Undergraduate Education Graduate Studies Professional & Continuing Education *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	College of Communication & Education/ Public Relations & Journalism Departments *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (        8)月～(        12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	授業	授業	授業	授業	休み
午後	授業	授業	授業 生徒新聞社ミ ーティング	授業	休み

② (        1)月～(        5 )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	授業	授業	授業	授業	休み
午後	授業	授業	授業	授業	休み

### 3. 履修内容

科目	The Orion		
履修期間	前期	単位数	3
授業内容／形態	オライオンと呼ばれる生徒新聞社にてジャーナリストとして取材や執筆を行う生徒主体の授業。それに加えて、毎週の授業に出席し、プロのジャーナリストから講義を受ける。その後、生徒同士でミーティングをする。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	なし	
	単位数	なし	
	担当教員	なし	

科目	Photojournalism		
履修期間	後期	単位数	3
授業内容／形態	一眼レフといったプロカメラの使い方を実際に校外で実習しながら学ぶ。時には、学校内や町の中心部を歩いている人に声を掛けて写真をお願いした。		
成績	A -		
YCU 振替予定	科目	なし	
	単位数	なし	
	担当教員	なし	

科目	Academic Writing		
履修期間	前期	単位数	3
授業内容／形態	大学でのレポートの書き方を中心に学ぶ。そのほかにも、留学生同士で文化の違いを議論することもあった。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	なし	
	単位数	なし	
	担当教員	なし	

科目			
履修期間	前期	単位数	3
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目	なし	
	単位数	なし	
	担当教員	なし	

科目	Interpersonal Communication		
履修期間	前期	単位数	3
授業内容／形態	対人コミュニケーションに関する講義。人はなぜコミュニケーションを取るのか、どのようにすれば対人コミュニケーションを円滑に進めることができるのかを学ぶ。		
成績	C		
YCU 振替予定	科目	なし	
	単位数	なし	
	担当教員	なし	

科目	Gender & Sexuality in Media		
履修期間	前期	単位数	3
授業内容／形態	アメリカメディアに潜むジェンダー格差に関して勉強する。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	なし	
	単位数	なし	
	担当教員	なし	

科目	Writing for Mass Media		
履修期間	後期	単位数	3
授業内容／形態	ジャーナリズム専用のライティング授業。A P Style と呼ばれる書き方を学びながら、実際に取材を通して訓練する。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	なし	
	単位数	なし	
	担当教員	なし	

科目	History of American Journalism		
履修期間	後期	単位数	3
授業内容／形態	アメリカのジャーナリズムがどのようにして形成されてきたのか、その歴史を学ぶ。プレゼンテーションなども行う。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	なし	
	単位数	なし	
	担当教員	なし	

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	H.N.	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学年	4年	派遣国	アメリカ合衆国
派遣大学	カリフォルニア州立大学チコ校		
期間	2022年 8月 12日～ 2023年 7月 5日		
プログラム	セメスター留学		

<留学先大学での履修内容>

科目	Gender & Sexuality in Media
講義内容	メディアの発信力が大きい現代において、そこに内在するジェンダー格差などに関して学び、その影響力の大きさを考える。
科目	Interpersonal Communication
講義内容	対人コミュニケーションに関して詳しく学ぶ。なぜ人はコミュニケーションをするのかから始まり、どのように効率的にコミュニケーションを取るのかを議論しながら研究する。
科目	Lab/ The Orion
講義内容	チコ校内の生徒新聞社。オンラインでは、チコで起こった事件や出来事などに関連した取材や執筆作業等を行う。
科目	Photojournalism
講義内容	カメラの仕組みから始まり、その使い方や実践的な撮影方法を学ぶ。加えて、フィールドワークを行い、校外での実習も実施する。
科目	History of American Journalism
講義内容	アメリカのジャーナリズムの歴史に関して学ぶ。どのようにしてアメリカでジャーナリズムが発展してきたのかを勉強する。
科目	Academic Writing for International Students
講義内容	留学生のための英語ライティング授業。具体的には、MLA スタイルについて学び、論文の書き方を中心に勉強する。



<総括>

(1) 全体的な感想 \*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

カリフォルニア州立大学チコ校での 10 ヶ月はあっという間でした。渡米した当初は、不安で一杯でしたが、数多くの新しい人々と出会い、経験を通して、結果的に非常に有意義な留学生活となりました。

およそ 11 ヶ月前の 8 月 12 日に初めて 1 人で渡米し、サクラメント空港近くのホテルに滞在しました。その際に、日本から離れて寂しい気持ちとこれからのアメリカでの生活のことで不安な夜を過ごしたことを今でも覚えています。しかしながら、その次の日からチコを去るまでに多くの生徒、教授と出会い、その気持ちもすっかりとなくなりました。今ではチコという町、そしてそこで出会った人々のことが恋しいです。

カリフォルニア州立大学チコ校では、ジャーナリズムを専攻しながら、コミュニケーションと英語を副専攻として学習しました。前期に 12 単位、後期に 13 単位を履修し、最終的には全ての単位を取ることが出来ました。GPA は 3.58 と自分的には納得のいく結果となりました。

その中でも、「The Orion」と呼ばれる授業を受講したことは、私の留学生活において非常に大きな意味を持ったと感じています。この授業は、生徒たち自身でジャーナリストとして取材して記事を作成するというもので、私の所属した Journalism & PR Department のプログラムにおいても目玉とされる生徒主体の実践的な授業で、私は前期に履修登録しました。初めて授業に行った際には、チーフ編集者を中心として、他の生徒達も 1 人留学生であった私を親切に迎え入れてくれました。私は、その時点でジャーナリズムの知識、経験等が全くと言っていいほど無かったのですが、彼らに積極的に質問したり、その活動を見ながら、様々なことに挑戦することを通して、少しずつ学んでいきました。前期の最後には、皆でご飯に行き、多くのことを語り合いました。後期にも、contributor としてその授業に出席して、彼らだけでなく、多くのプロフェッショナルのジャーナリストの講義を通して、ジャーナリズムに関する知識を深めていきました。こうした活動を通して、いつの間にか「The Orion」は私の留学中の心の支えとなっていました。最後には、パーティーを行い、私を表彰を受けるなど、本当に良い人々にめぐり合うことができたなと感じました。この授業は、私にジャーナリストには決して 1 人ではなく、皆が互いに切磋琢磨し、助け合っていくことが重要だと気付かせてくれました。

その他にも、後期にはより多くのジャーナリズムの科目を受講し、より詳しく取材の仕方や記事の書き方等について学ぶことが出来ました。それとともに、過去から現代へと受け継がれているジャーナリズムにおける様々な課題についても勉強しました。これから横浜市立大学に戻り、メディアを再び研究するにあたって重要となるであろう新たな視点を見つけることができました。

留学期間中には、カリフォルニア州内を Thanksgiving や冬休みを利用して旅行しました。サンフランシスコやサンノゼ、ロサンゼルスなどに出かけ、観光地を巡りました。どの都市も非常に見応えのある都市で、楽しんで散策することが出来ました。ただ、アメリカには危険な地域も多く、多少怖い経験をすることもありました。ただ、私の周り

には本当に親切な人が集まっていて、アメリカで暮らすうえでの不安を拭い去ってくれました。留学中、私をサポートしてくれた全ての友達に感謝しています。

(2) 今後の展望 \*この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

カリフォルニア州立大学チコ校でジャーナリズムを専攻し、志の高いジャーナリスト達と出会い、その自主性の高さを学びました。その一方で、情報を発信することの責任や難しさなども同時に感じ、自分が将来できる仕事なのだろうかと考えることも多くありました。ただ、多くのアメリカ人が私と比べて非常にポジティブな性格で、自分がやりたいなら何事もやるべきだということを彼らの姿勢から学びました。また、普段の彼らを見ていると、もっと自分を出してもっと自由に生きていいんだと感じ、今後はこうしたアメリカで学んだことを生かして、他者を尊重はしながらも、自分のやりたいことも周りの目を気にせず挑戦していきたいと考えています。また、現在は明確に進みたい業界は決まていないのですが、アメリカのカリフォルニア州立大学チコ校で学んだことやアラバマ州にあるテレビ局でのインターンシップの経験を就職活動に活かし、さらにはその先の仕事にまで還元していきたいと考えています。

(3) 後輩へのアドバイス \*留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

アメリカ留学のアドバイスとしては、事前に明確に自分が留学先で何をしたいのかということを決めておくことが重要だと思います。この目標設定があるのとないのとでは、留学での過ごし方も全く異なると私は感じています。というのも、留学生の中には「とりあえず留学したかった」という人がいましたが、そうした人は途中で留学のモチベーションを失う人も多かったです。ですので、これから留学する人には、自分がその大学に行って何をしたいのかということを決めてほしいという思いが強いです。その目標は必ず勉強にすべきというわけではなく、「留学中に旅行をしたい」や「友達を多く作りたい」など人それぞれでいいと思います。私の場合は、「ジャーナリズムを学びたい」と「旅行をしたい」という理由で留学中の目標を渡航前に設定しました。そして実際に、チコ校でジャーナリズムを専攻し、授業だけでなく、生徒新聞社で取材や執筆活動を行いました。加えて、その経験を生かしてインターンシップにも応募し、アメリカでインターンシップに参加することもできました。また旅行に関しても、サンフランシスコやロサンゼルスなどカリフォルニア州の多くの観光地を観光することができました。このように明確に目標を持っていると、留学中に自分を見失うことが減り、より有意義な留學生活を送ることが出来ると私は考えています。皆さんにも頑張ってもらいたいです。